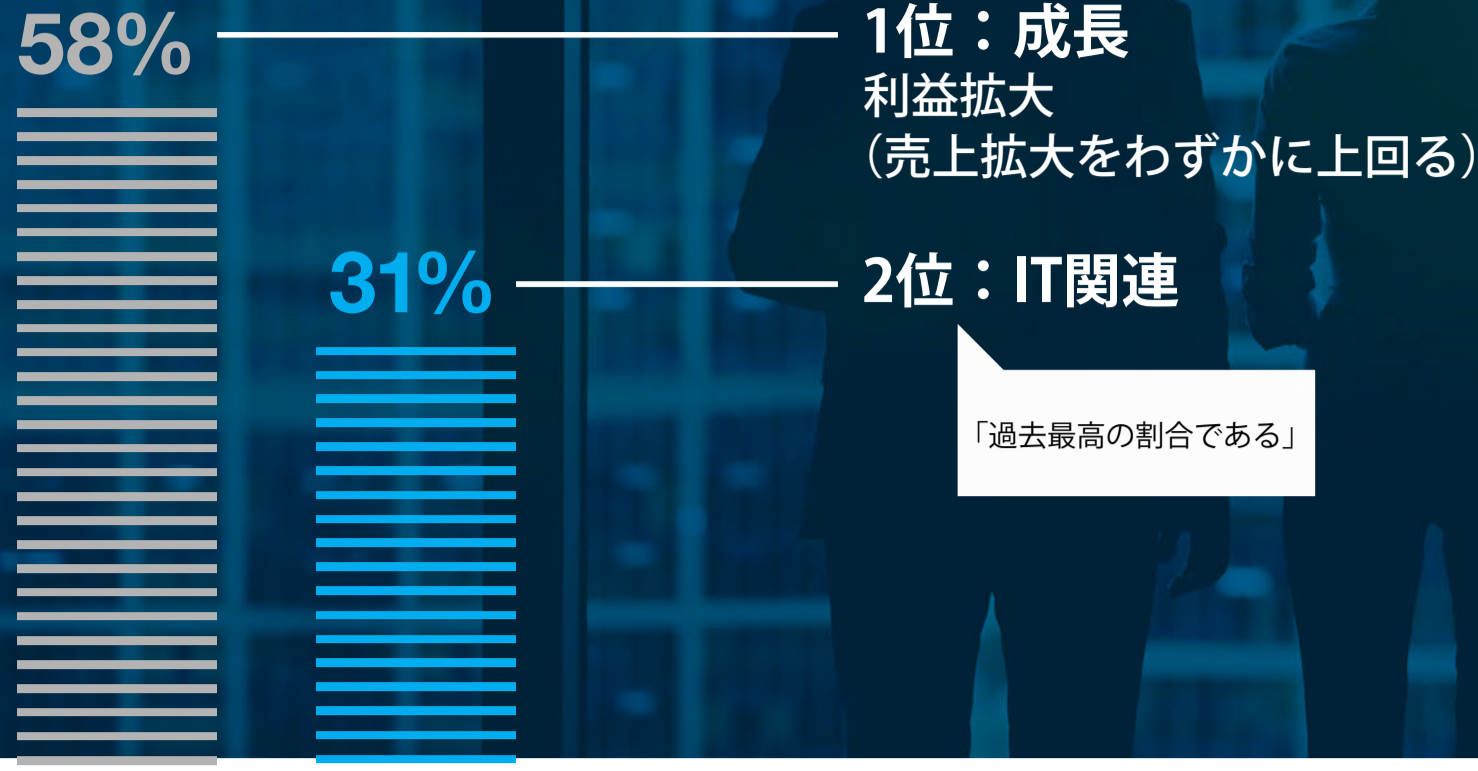
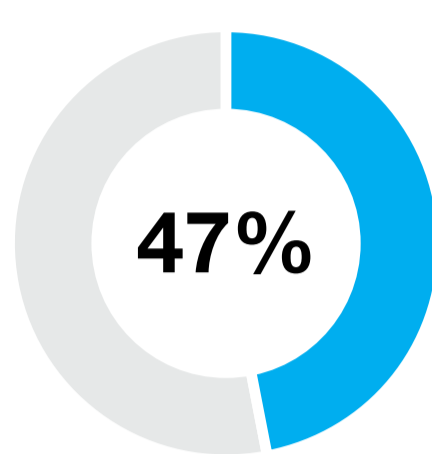


# CEO は「デジタル・ビジネスの成長」をさらに拡大する

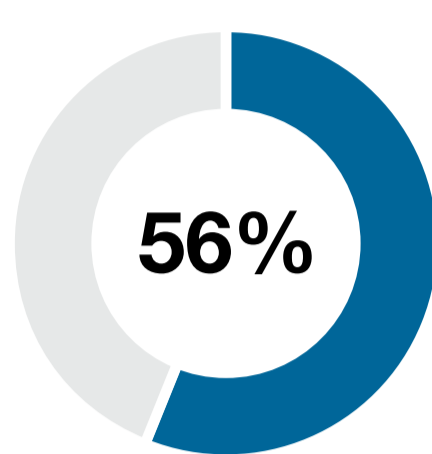


Q: 今後2年間(2017~2018年)における上位の戦略的なビジネス上の優先事項をお答えください。(回答上位3つの優先事項に基づく)

## 課題はあるものの、CEO はデジタル変革を実現できる確信を持っている。



デジタル・ビジネスを進めるよう取締役会から圧力を受けている。



デジタル化への投資によって純利益が改善したと回答。

各質問に対して「はい」または「いいえ」で回答。

## しかし、約半数のCEOは成功の評価基準を確立していない。

53%  
明確な成功基準を提示できなかった。

47%  
収益、売上、利益などの評価指標を使用。

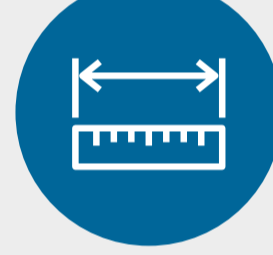
Q: デジタル・トランスフォーメーションの進捗状況と成功に対する主要な評価基準は何ですか。

## CIO は、CEO によるデジタル・ビジネスの成功評価基準策定を支援すべきである。

### 前提:



定量化しなければ規模の拡大はできない。



定義しなければ定量化できない。

### 問い:



- 自社にとって「デジタル」とは何か？
- どのような成長が必要か？
- 最も重要な評価基準は何か？
- どのKPIが変化するか？

## 企業は、業界規模でのデジタル・ビジネスに向け、初期の実験を越えて先に進む必要がある

42%  
デジタル・ビジネスに対する現在の自社の姿勢が「デジタル・ファースト」や「デジタルをコアに据える」と回答。

Q: デジタル化への意欲について、貴社の現在のレベルに最も当てはまるものはどれですか？

## 多くの企業は規模の拡大をするために社内でテクノロジー・ケイパビリティを構築する。

57%  
社内のIT能力とデジタル能力を高める

29%  
IT業務とデジタル業務を外部プロバイダーにアウトソースする

Q: 2017年、どちらに重点を置きますか？(13% — どちらにも該当しない)

## 今こそ、デジタル・ビジネスへの意欲を拡大するときである。

CEOサーベイ結果の詳細を聞きたい方はこちら